

○水生生物モニタリング調査結果一覧（秋元湖H）

<秋元湖H 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
H-1	○	○	○	○	○	○

<秋元湖H 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	H29.8.25	09:02	09:08	21.5	10.8	軟泥	7.5Y 5/2	植物片	15.2	3.9
H-1 (下層)				08:50		15.1						

<秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	H29.8.25	09:02	6.9	<0.5	3.6	7.9	5.1	0.03	1.4	1	1.2	0.0023	0.015	—
H-1 (下層)				08:50	6.5	<0.5	4.2	6.7	4.2	0.03	1.5	2	1.5	0.0015	0.0083	0.0014

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
H-1	37.6575°	140.1264°	H29.8.25	09:08	6.9	234	70.0	9.4	25.9	2.566	0.0	0.1	0.1	1.0	48.9	49.9	0.0050	2.0	62	520	1.3

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<秋元湖H 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)			
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137				
H-1 H-2 H-3	湖内	37.6575° 37.6616° 37.6653°	140.1264° 140.1226° 140.1329°	H29.8.25	節足動物	軟甲	エビ	ザリガニ	<i>Pacifastacus leniusculus trowbridgii</i>	ウチダザリガニ	21	1.1	成体	—	—	24.3	3.3	21	7.3			
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	15	1.2	成魚	不明消化物	内臓除去	32.2	3.2	29	0.71			
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	20	3.4	成魚	不明消化物	内臓除去	44.8	5.8	39	1.2			
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>	ニゴイ	2	0.86	成魚	不明消化物	内臓除去	40.4	5.4	35	—			
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	キュウリウオ	<i>Hypomesus nipponensis</i>	ワカサギ	47	0.19	成魚	—	—	17.1	3.1	14	—			
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	4	1.4	成魚	ワカサギ	内臓除去	37.5	3.5	34	0.32			
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	サクラマス	2	0.43	未成魚	ワカサギ	内臓除去	31.2	4.2	27	—			
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サシイサシユ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	8	2.1	未成魚/成魚	ワカサギ、エビ類	内臓除去	33.3	3.3	30	0.95			
H-3	流入河川	37.6653°	140.1329°	H29.8.25	粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.27	—	—	—	—	47.9	5.9	42	—		
H-4	湖内 および 周辺河川	37.6551°	140.1181°	H29.8.25	藻類・植物	—	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.014	—	—	—	—	5.7	2.6	3.1	—	
					藻類・植物	単子葉植物	オモトカ	トチカガミ	<i>Elodea nuttallii</i>	コカナダモ	—	0.29	—	—	—	—	—	—	3.57	0.37	3.2	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	23	0.020	幼虫 (ヤゴ)	—	—	4.4	N.D. (2.3)	4.4	—			
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ												
					節足動物	昆虫	トンボ	ササエトンボ	<i>Lanthus fujiacus</i>	ヒメクロサナエ												
					軟体動物	腹足	盤足目	カワナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワナ	30	0.014	成体	—	軟体部	7.8	N.D. (3.6)	7.8	—			
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	5	0.012	未成魚	—	—	5.0	N.D. (4.0)	5.0	—			

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。